

【第1分科会】

人との関わり
～関係性を築き直し続ける～

●第1分科会 運営者（以下敬称略）

【責任者(ファシリテーター)】来栖 祐弥（神奈川支部）

【報告者】林 祐太（神奈川支部）・石井 雄大（埼玉支部）

【助言者(コーディネーター)】丹野 裕基（東京支部）

●プログラム

13:30～13:39 アイスブレイク・プログラム説明 【来栖祐弥（神奈川支部支部長）】

13:39～13:54 実践発表【林祐太（神奈川支部顧問）】

『人との関わりを通して、自分を見つめる。～自分もみんなも大好きに～』

13:54～13:57 リフレクション

13:57～14:12 模擬授業【石井雄大（埼玉支部）】『教室にあふれさせたい言葉』

14:12～14:15 リフレクション

14:15～15:05 熟議【来栖祐弥（神奈川支部支部長）】「関係性を築き直し続けるポイント」

15:05～15:15 講評【丹野裕基（東京支部支部長）】

15:20～15:30 中庭での閉会挨拶・記念撮影

【第2分科会】

言葉への興味・関心～言葉が育つと人が育つ～

●第2分科会 運営者（以下敬称略）

【責任者】小野貴仁（千葉支部 支部長）

【進行】赤沢善哉（千葉支部 副支部長）

【報告者】小野寺真里・植本京介（千葉支部）

【コメンテーター】牧野真雄（愛媛支部 支部長）

●プログラム

13:30～13:35 はじめに・挨拶

13:35～14:00 模擬授業：植本

14:00～14:05 感想交流、質疑応答

14:05～14:20 実践報告：小野寺

14:20～14:30 感想交流、質疑応答（コメンテーターと提案者による対談形式）

14:30～14:45 成長ギャラリー（白い黒板・価値語・4つのアンケート・言葉指導）

14:45～14:55 学びの振り返り（個→グループ）

14:55～15:05 全体共有+コメンテーターより

15:05～15:15 終わりの言葉+アンケート記入

●第2分科会 言葉への興味・関心について

【文責 小野貴仁 千葉支部 支部長】

菊池道場では「言葉への興味・関心」とは「社会的語彙力」を身につけることと定義しています。具体的には①言葉を豊かに使うことでよりよく他者と繋がろうとする②自分や集団の考え方や行動をプラスに導こうとする③自分の思いや経験を表現する意欲や実践力の向上をねらっています。言葉への興味・関心を高めたその先を目指しているのです。

コミュニケーション科のゴールイメージとも言える菊池学級のように「人間関係をよりよくし、学びの絆の強い集団の育成」を目指すにはコミュニケーション、つまり対話、話し合いの授業が必然で、言葉に関心を持たせる必要があると考えました。対話があるから言葉の力が育つし、言葉の力が対話を白熱させるからです。言葉への興味・関心が高まると文章をよく読み、よく理解し、相手の意見をよく聴き、相手に伝わるように言葉を選ぶようになります。言葉の力が学びに向かう強い絆を支えるのです。また、価値ある言葉を子どもたちに植林していくことが、望ましい成長に繋がります。価値ある言葉が子ども自身の行動、判断の基準、軸となるためには子どもたちの実体験の中で言葉を育てていく必要があると考えます。コミュニケーションのない教室では、価値ある言葉も育っていきません。言葉に真剣に向き合うから価値語が心に植林され、子どもたちの中で言葉が育ち、人間関係がよりよくなっていくのではないのでしょうか。

「言葉が育つと人が育つ」第2分科会ではこの言葉に挑みます。

【第3分科会】

即興力

～「想像」と「創造」を通して豊かな対話力を育て合う～

●第3分科会 運営者

【責任者・発表者】 中國達彬

【進行・発表者】 井戸省太・小川亮太

【助言者】 関戸冬彦

●プログラム

13:30～13:40 はじめに

- ・この分科会が目指すもの
- ・アイスブレイキング

13:40～14:10 発表・ワークショップ①

「即興力アップコミュニケーションゲーム」

14:10～14:40 発表・ワークショップ②

「演劇的コミュニケーション」

14:40～15:00 発表・ワークショップ③

「総合的コミュニケーション」

15:00～15:15 分科会まとめ

15:15～15:30 全体まとめ

- ・菊池道場長 菊池省三による総括

【第4分科会】

自分らしさ力 ～発信・表現でつながり、成長する～

●第4分科会 運営者

【責任者・進行】由川裕治

【報告者】由川裕治

【助言者】倉岡佳世

●プログラム 「自分らしさを発揮する楽しさを感じよう！」

13:30～13:40 提案「自分らしさ力」について

- ・長沼先生「コミュニケーション科をひもとく」より、自分らしさ力の意義
- ・「自分らしさ力」としてのスピーチとは。国語科との違い

13:40～14:20 ワークショップ1「パフォーマンス力」

「パフォーマンススピーチ大会で自己開示」

実践発表（5）

ワークショップ（30）

ふり返し（5）

14:20～14:25 小休憩

14:25～14:55 ワークショップ2「スピーチ・プレゼンテーション力」

「わたしの宝物スピーチ大会で伝える楽しさを実感」

実践発表（5）

ワークショップ（20）

ふり返し（5）

14:55～15:05 第4分科会振り返り

「自分らしさ力を伸ばすための教師のファシリテーションとは」

15:05～15:15 分科会まとめ・助言（倉岡佳世）

【第5分科会】

『対話・話し合い力』
やりとりを疎まず，他者との対話を楽しむ

●第5分科会 運営者

【報告者】 菊池道場広島支部支部長 藤澤 稔

【報告者】 菊池道場愛知三河支部副支部長 近藤 史親

●プログラム（時間については目安としていただけると幸いです）

13:30～13:45 ・開会挨拶

・登壇者他己紹介，アイスブレイク

・『対話・話し合い力』についてのイメージ共有

… 実践提案①：愛知三河支部副支部長 近藤史親

13:55～14:20 ・ミニ・ディベート体験 ～『対話・話し合い力』を育むために～
対話・話し合いのある教室に必要な空気感を体験してみよう。

・『対話・話し合いのある授業』から『対話力』を考える

… 実践提案②：広島支部支部長 藤澤 稔

実際の子どもたちの映像から、『対話力』について考えてみましょう。

14:30～15:05 ・「個」の姿から，『対話・話し合い力』についての分析
実践報告をもとに，会場の皆さんとディスカッションしましょう。

15:05～15:15 ・分科会まとめ …リフレクションと交流

15:15～15:30 ・全体まとめ

菊池道場道場長：菊池省三

【第6分科会】

個と集団を育てる議論力
～より価値ある合意形成にむかう力～

●第6分科会 運営者（兵庫支部）

【責任者・進行】 久後 龍馬

【報告者】 岡 佑樹

【ストップモーション分析】 南山 拓也・岡 実咲・久後 龍馬

【助言者(コーディネーター)】 江崎 高英

●プログラム

13:30～13:40(10分)

「個と集団を育てる議論力」について

提案者 久後 龍馬

13:40～14:00(20分)

実践発表「形成期に行うディベートの価値」

発表者 岡 佑樹

14:00～14:30(30分)

ストップモーション分析 「菊池学級のディベートを深掘りする」

分析 南山 拓也・岡 実咲・久後 龍馬

江崎 高英(コーディネーター)

14:30～15:15(45分)

熟議「議論力を育むために(仮)」

コーディネーター 江崎 高英

15:15～15:30 菊地道場長よりメッセージ

全体まとめ

【第7分科会】

社会形成力

～対話・議論を通して健全な個や集団を育てる～

●第7分科会 運営者

【責任者・進行】大西 志帆

【報告者】堀井 悠平 , 林 大葵

●プログラム

13:30～13:45

【提案①】「社会形成力」について～対話・議論を通して健全な個や集団を育てる～

○一年間の実践の全体像

○「公に通用する人間を育てる」菊池道場の根幹

13:45～14:05

【提案②】『対話・議論を通して、主体的に学級や学校生活づくりに参画する』

○「学級目標の話し合い」の授業

○「学級座談会」の授業

【小休憩】

14:10～14:40

【報告①】『係活動で、「学級を創る」意識を高める』

○新しく誕生した係活動が、主体的によりよい学級生活を作っていく

14:40～15:10

【振り返りと全体共有】

○小グループで振り返りを行い、全体で学びを共有する

15:10～15:15

【分科会まとめ】

15:15～15:30

【全体まとめ】

菊池道場道場長 菊池 省三

【第8分科会】

中学・高校のコミュニケーション 学びを貫くコミュニケーション

●第8分科会 運営者（以下敬称略）

【責任者】大廣光文（多摩地域支部）

【司会進行】桑垣内信行（和歌山支部）

【報告者】大廣光文・小崎良行（栃木支部）

【助言者(コーディネーター)】山香昭（大分支部）

●プログラム

13:30～13:35 はじめに・挨拶

13:35～13:45 アイスブレイク(コミュニケーションゲーム)【桑垣内(和歌山支部)】

13:45～13:55 第8分科会からの提案紹介(総論)【大廣(多摩地域支部顧問)】

13:55～14:10 実践発表【小崎(栃木支部副支部長)】

—コミュニケーションで支え合う学びの授業実践報告〔教科・領域：国語・特別活動〕

14:10～14:30 授業実践①(ディベート実践)【大廣学級(昭和学院高校1年生)】

—コミュニケーションで分かち合う学びの模擬授業〔教科・領域：総合探究〕

14:30～14:35 感想交流・小休憩

14:35～15:00 授業実践②(会場参加者を含む熟議)【大廣学級】

—会場参加者と生徒による小グループでの熟議

熟議のテーマ：「学びを貫くコミュニケーションが目指すもの」

15:00～15:10 講評【山香(大分支部顧問)】

15:10～15:15 おわりに・分科会まとめ

15:15～ 移動・全体まとめ〔全体での写真撮影〕